



あかし女性応援講演会

# チャンスを断らない

～その先に見えたもの～

## チャンスをつかめる人へ

- ・男性社会の壁を感じる…
- ・ロールモデルがないから不安だし孤独を感じる…
- ・自信が持てないがためにチャンスを断ってしまう…

このような悩みが、女性活躍を阻む要素となっているため、  
一歩を踏み出せない女性が多くいます。

チャンスをつかめる人になるためには、どうすれば…？

女性が一層活躍できる社会の実現のために、前尼崎市長で  
あり、様々なチャンスを断らずにチャレンジし続けている  
白井文さんに、その先に見えたものをご講演いただきました。

## プログラム

### ■開会あいさつ

代表 崎野 圭子

### ■第1部

講演会

「チャンスを断らない ～その先に見えたもの～」

### ■第2部

交流会「聞きたいことが聞ける交流会」

### ■閉会あいさつ

副代表 小河 作江

## 開催データ

### ■日時

2020年2月8日(土)  
14:00～16:00

### ■場所

複合型交流拠点ウィズあかし学習室704  
(明石市東仲ノ町6番1号 アスピア明石北館)

### ■参加者

【第1部】60名【第2部】40名

## 講師

白井文 さん (前尼崎市長)



▲ 講演会の様子

## 【第1部】講演会

ご自身が育ってきた環境やプライベートな過去など、他ではなかなか聞けないエピソードもお話いただき、  
実際にご自身が経験してきた壁や逆境を例に、どう乗り越えてきたのかを講演していただきました。

SDGsやジェンダー平等の視点からの意見も述べられ、女性が声を挙げ、行動を起こしていく大切さを訴えられ、  
現在取り組まれている「ガールアップセミナー」の紹介もありました。

## 【第2部】交流会

参加者からの質問をホワイトボードに貼りだし、主な質問に答えていくという形式で進められました。

質問が多かったのは、「未知の世界に飛び込む勇氣、チャレンジ精神、プレッシャーについて」「なぜ名前を変えたのか」「市長時代の話」「落ち込んだ時の回復法」「女性の活躍」などでした。



## 君たちは 社会を支える人になれ

学生時代6年間お世話になった  
恩師のメッセージの一部

議員という一步を踏み出していなければ、  
市長選挙という大きなチャレンジはなかった

1歩何かを始めるということは、次の扉を開くきっかけになる。  
何もしなかったら何も始まらないし、何の変化もうまれない。  
何か自分の中でちょっと踏み出すということによって、どんどん扉や窓が開いて行って、押してくれる人が出て、みたいな変化が起きてきた。



自分達の限界を自分で決めない。  
いろんなことにチャレンジして、どんどん  
進んでいこう、というエネルギーが  
チャレンジする先に見えてきた。

誰かと比べる必要は全くないし、自分一人ひとりが違って  
いていい。何か新たなことにチャレンジし、1歩踏み  
出すことで、また新しい出会いや可能性が広がっていく  
のではないかな、と思っている。



前向きな  
原動力の一つは、  
「怒り」。  
怒りと自分に対する  
自負心が原動力。

優秀な人がたくさんいるにもかかわらず、  
私は無理、とか経験がない、といって  
指名されたり推薦されたりしても  
引いてしまう人がいるが、  
そこは失敗してもいいので  
挑戦してほしい。



▲ 交流会の様子

自分のことは自分では分からない。  
他人のほうが分かってくれたりする。  
他人から頼まれたり、こうしたら？と言われたら、  
自分ではできないと思っけていてもできるのかな、と考える。

自分達の周りにある、困っている  
状況や間違っていることを  
聞き流さず、いちいち言うていく。

女性が勇気をもってそう言った時に、  
男性が「その通り」と  
一緒になって言うてくれると嬉しい。

今、日本では、今までの仕組みや制度に  
問題が生じてきているのではないか

誰ひとり取り残さないというような概念はなかったのでは  
ないか。そういうところにクローズアップして仕組みや制度を  
見直していかなければならないのではないか。  
そのためには女性の力が必要。  
様々な分野、ロケーションで女性がメッセージを発信し、  
行動を起こしていくことが大切。